

■ケニア：2014年までに地熱を国内の主力電源とする方針が明らかに

国営地熱開発会社のサイラス・シミュ CEO は 2011 年 1 月 23 日、2014 年までに地熱を国内の主力電源とする方針を明らかにした。同社は今後 10 年間で 26 億ドル (2,140 億円) を投じて 566 カ所を試掘する計画を示した上で、ケニア中央部のメネンガイ地区で 2014 年の運開をめざし、40 万 kW の地熱発電所を建設するための掘削を近日中に開始すると明らかにした。今後 10 年間で同社が開発を予定している地熱発電所は合計 234 万 kW に上る。現在、ケニアの総発電設備容量は 140 万 kW であり、このうち地熱は 12% に留まっている。水力発電に大きく依存するケニアでは干ばつにより 2009 年に大規模な電力不足が発生しており、経済成長に大きな影響を与えたことから電源の多様化が急務とされていた。ケニアでは有望な国内 14 地点での地熱開発可能量は 700 万～1,000 万 kW と推定されている。